2026.11.13

2027年3月期 第2四半期
決算説明会資料

セイノーホールディングス株式会社（9076）

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

01 2027年3月期 第2四半期（中間期）決算概要

02 輸送事業について

03 2027年3月期 業績予想

04 企業価値向上に向けて

Appendix

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

本日お伝えしたいこと

- 【連結：増収・増益】2027年3月期第２四半期決算は、売上高、 営業利益、経常利益ともに前年同期を上回り、過去最高となりました。全セグメントで増収・増益となっております。

- 【輸送：増益】特積みにおいては、＋αの価値提供による適正運賃収受に継続して取り組み、kg単価の上昇に繋がりました。また、営業日数が1.3日少ない中、１Qのナフサ関連特需を取り込んだことなどで、日当り物量は前年を上回りました。これにロジスティクスや貸切の成長も加わり、営業利益は前年同期比10%増となりました。

- 【通期予想：修正】第２四半期までの進捗を踏まえ、通期の売上予想を上方修正し、営業利益については、輸送事業での12月以降の燃料補助金減額を予想に織り込むものの、他のセグメントでの上振れ分と打ち消しとなるため、連結営業利益は据え置いております。また、第4四半期に関係会社株式売却益の計上を予定していることから、当期純利益は27%増となり、ROEは7.4%を予想しております。

- 【株主還元：2円増配】
  年間配当は、 2円増配の106円（中間43円、期末63円）に修正し、6期連続の増配を予定しております。

- 引き続き、収益性の高いロジスティクスおよび貸切の成長と、非連続での成長加速に取り組むとともに、O.P.P.による生産性向上とTeam Green Logisticsの推進を通じて、企業価値の向上と物流業界の社会課題解決の両立を目指してまいります。

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.



01 2027年3月期 第2四半期（中間期）決算概要

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

P／L：増収・増益

前年比利益は2桁成長を継続、売上高・営業利益・経常利益は過去最高

（単位:百万円）	25.09	26.09	前年同期比	予想比
売上高	398,559	420,688	+5.6%	+3.0%
売上総利益	46,945	51,328	+9.3%	
（粗利益率）	11.8%	12.2%	+0.4pt	
販売管理費	28,844	30,914	+7.2%	
営業利益	18,101	20,413	+12.8%	+0.1%
（営業利益率）	4.5%	4.9%	+0.3pt	
経常利益	18,495	21,950	+18.7%	+4.5%
親会社株主に帰属する第2四半期純利益	10,757	13,019	+21.0%	+4.2%

売上高　前年同期比 +5.6%

輸送事業や自動車販売事業をはじめ全セグメントの売上増加により、221億円の増収

営業利益　前年同期比 +12.8%

増収に加え、効率化による費用増加の抑制などから、23億円の増益

経常利益　前年同期比 +18.7%

営業利益の増加に加え、持分法投資利益14億円の増加などもあり、34億円の増益

四半期純利益　前年同期比 +21.0%

経常利益の増加に加え、第１四半期での事故関連損失29億円を特別損失を計上したものの、関係会社株式交換益31億円を特別利益に計上したこともあり、四半期純利益は22億円の増益

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

事業の概要：全セグメントで増収・増益

（単位:百万円）	売上高 （前年同期比） 【予想比】	営業利益 （前年同期比） 【予想比】	26.09　事業概況	KPI
輸送事業	320,677 （+3.8%） 【+2.4%】	13,419 （+10.0%） 【▲6.2%】	**売上高** 特積事業における適正運賃収受の推進に加え、第１四半期のナフサ関連の特需を取り込めたことや、ロジスティクスや貸切などの伸長もあり、117億円の増収　（ＭＤロジス売上　616億円〔+4.8%〕） **営業利益** 増収に加え、運行便の効率化を継続するなど営業費用の削減に取り組み費用増加を抑制したことで、12億円の増益 （ＭＤロジス営業利益32億円〔+9.3%〕）	**特積** 前年同期比 物量　101.5%（西濃運輸：一般+ミニ） （グループ：100.5%） kg単価 102.4%（西濃運輸：一般） （グループ：102.5%） **ロジスティクス** 前年同期比 売上　107.8%（発送運賃除く） **貸切** 前年同期比 売上　112.0%（西濃運輸）
自動車販売事業	62,257 （+14.1%） 【+3.8%】	4,796 （+14.5%） 【+4.3%】	**売上高** 乗用車の人気車種の販売の好調や、環境性能割の廃止に伴う前期からのずれ込みもあったことから、トラックと共に新車販売台数が増加。中古車販売や整備等も堅調に推移し増収 **営業利益** 増収効果と費用管理により6億円の増益	**国内新車販売台数** 前年同期比 乗用車 8,850台（107.3%） トラック 1,322台（125.1%）
物品販売事業	21,731 （+6.9%） 【+6.5%】	759 （+5.3%） 【+22.5%】	家庭紙の販売拡大などから、増収・増益	
不動産賃貸事業	1,286 （+5.8%） 【+2.9%】	951 （+6.4%） 【+3.4%】	賃料改定が寄与し、増収・増益	
その他	14,734 （+9.0%） 【+7.9%】	1,331 （+7.2%） 【+21.1%】	全体として堅調に推移し、増収・増益	

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

営業費用（連結）

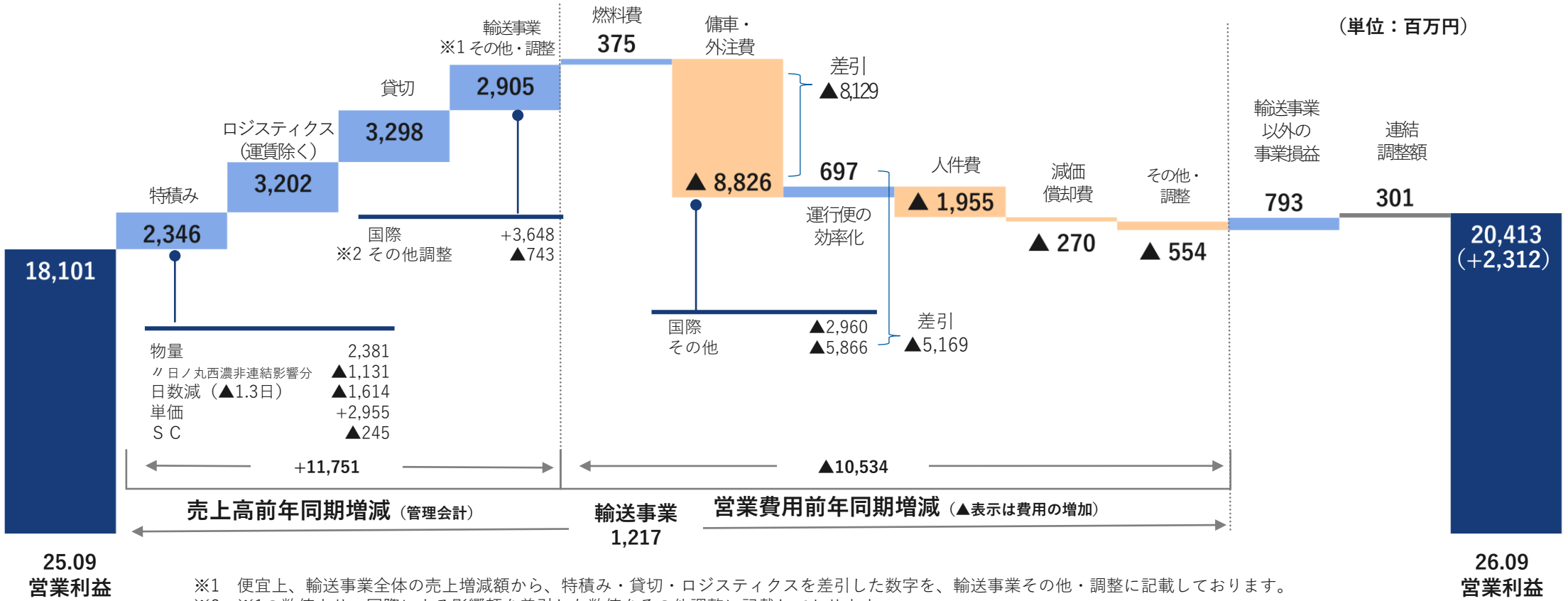
売上高が前年同期比5.6%増加する中、
費用伸び率を5.2%に抑制し、連結営業利益の増益につながった

（単位:百万円）	25.09	26.09	前年同期比	コメント
人件費	121,927	124,771	+2,844 (+2.3%)	輸送事業での増加　1,955 輸送事業以外での増加　889
燃料費	9,212	8,843	▲369 (▲4.0%)	輸送事業での減少　▲375 輸送事業以外での増加　5
減価償却費	12,738	13,207	+468 (+3.7%)	建物及び構築物　289 ソフトウェア　107
庸車料・取扱手数料・外注費	127,250	135,380	+8,129 (+6.4%)	国際売上原価の増加　2,960 〃　以外の増加　（※）　5,169 （※）運行便の効率化効果697百万円控除後の数値
その他	109,328	118,072	+8,743 (+8.0%)	商品仕入原価の増加（自動車販売事業）　6,637 商品仕入原価の増加（物品販売事業）　2,257
営業費用合計	380,458	400,275	+19,816 (+5.2%)	連結売上増加額　＋12,188 増加率　＋5.6%

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

連結営業利益の増減要因（前年同期比）

輸送事業の 特積み・ロジスティクス・貸切の堅調な伸長と共に費用抑制により増益
自動車販売事業の他、各セグメントも増益となり、連結営業利益は増益となった



※1　便宜上、輸送事業全体の売上増減額から、特積み・貸切・ロジスティクスを差引した数字を、輸送事業その他・調整に記載しております。
※2　※1の数値より、国際による影響額を差引した数値をその他調整に記載しております。

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

キャッシュ・フロー

借入金の返済や配当金支払などに、期首から現金同等物を121億円活用

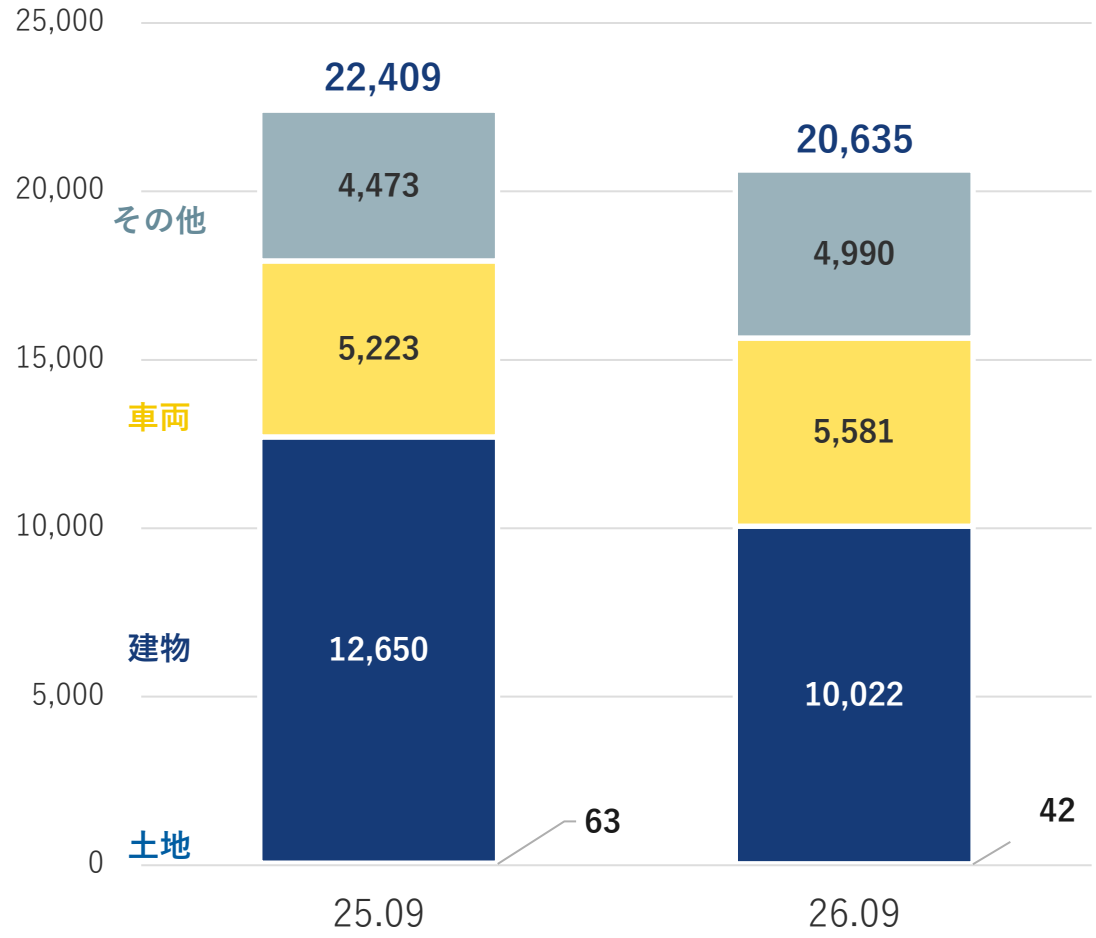
（単位:百万円）	25.09	26.09	前年比	増減要因	
営業活動による キャッシュ・フロー	22,531	19,284	▲3,246	税金等調整前中間純利益の増加 関係会社株式交換損益 売上債権の増減額 仕入債務の増減額 法人税等の支払額の増加	4,330 ▲3,102 ▲4,113 3,481 ▲3,547
投資活動による キャッシュ・フロー	▲20,209	▲15,454	+4,754	定期預金の払戻預入による増減 固定資産の取得による支出の減少 固定資産の売却による収入による増加	▲6,016 4,046 4,979
財務活動による キャッシュ・フロー	▲11,687	▲16,073	▲4,386	借入金の増加 借入金の返済 配当金の支払額	7,074 ▲10,169 ▲1,112
フリー・キャッシュ・フロー	2,321	3,829	+1,508		
現金及び現金同等物に係る 換算差額	▲82	69	+152		
現金及び現金同等物の増減	▲9,448	▲12,174	▲2,725		
現金及び現金同等物の 期首残高	77,354	84,064	+6,709		
現金及び現金同等物の期末残高	67,906	71,889	+3,983		

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

設備投資

上期は前年同期比18億円の減少であるが、計画通り進捗（通期400億円）

（単位：百万円）



26.09 設備投資の主な内訳

土地　42百万円

建物　10,022百万円

- 西濃運輸（市川支店新築）　3,820百万円
- 西濃運輸（岡山支店新築）　2,497百万円
- 西濃運輸（名古屋南支店新築）　1,608百万円

- TCN岐阜※（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ ｾﾝﾀｰ新築）　292百万円
  ※自動車販売事業

車両　5,581百万円

- 西濃運輸（557台）　2,884百万円
- MDロジス（27台）　383百万円
- セイノースーパーエクスプレス（44台）　228百万円
- 北海道西濃（34台）　188百万円

その他　4,990百万円

- 西濃運輸（省力機器他）　1,403百万円
- 西濃運輸（ソフトウェア）　749百万円

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

02 輸送事業について

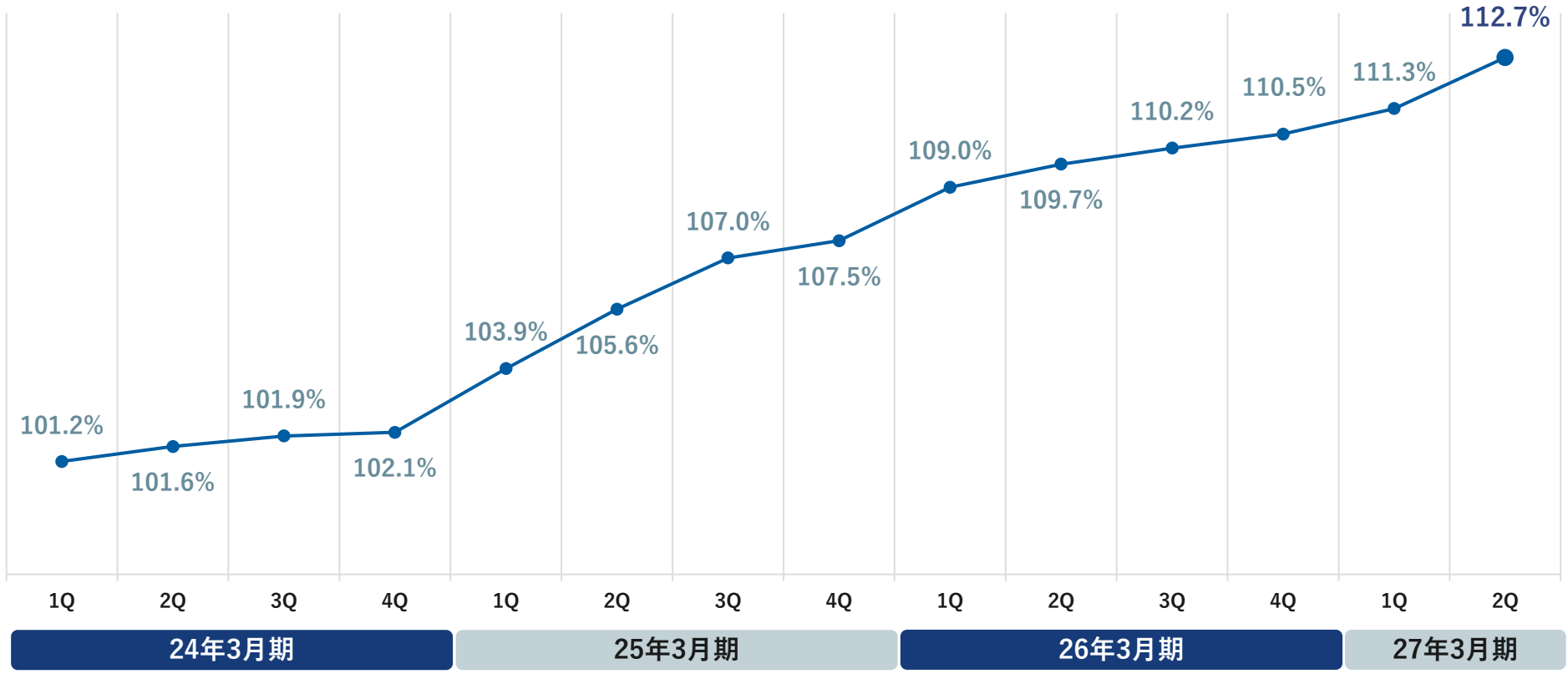


Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

kg単価の推移（22年度同期比）

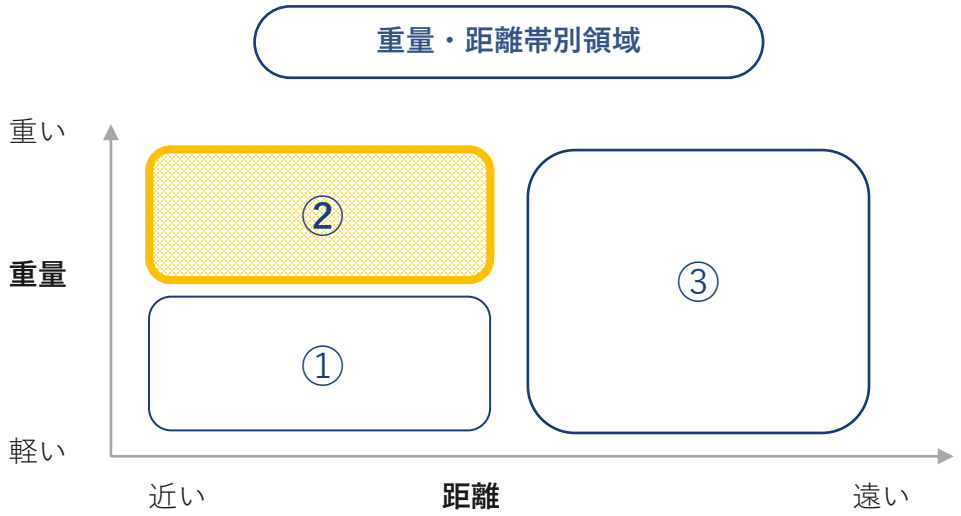
継続的な運賃改定と新届出運賃の適用により、kg単価は2022年度同期比112.7%まで上昇

（集計：西濃運輸　一般便）



Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

重量・距離帯別の分析（西濃運輸）



重量・距離帯別 前年比（上期）

重量帯／距離帯	日当り物量	kg単価
①300kg以下／500km以下	99.4%	102.5%
②300kg超／500km以下	104.5%	102.7%
③500km超	102.1%	102.4%
全体	101.5%	102.4%（※）

※タリフの特性上、高重量帯の物量増により平均kg単価の伸び率が低い

：当社の強い領域

物量（上期）

想定 101.5%　実績 101.5%

- 第1四半期はナフサ関連の特需も寄与し、上期計画達成。
  一方、第2四半期以降は荷動きが鈍化し、足元でも継続。
- 下期は適正運賃の収受と物量確保の両立を図るべく、
  収益性の高い業種・案件への営業活動を強化し、
  持続的な物量拡大を推進。

単価（上期）

想定 102.3%　実績 102.4%

- 7月の大手荷主運賃改定、
  8月の2026年新届出運賃の適用開始が寄与し、
  第2四半期は前年比102.8%で伸長し計画達成。
- 下期も3年周期の運賃改定に加えて低レート荷主の優先改定を推進し、
  継続的なkg単価の向上を図る。

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

運行便の効率化（西濃運輸）

運行便の効率化

単位：百万円



上期は697百万円の効率化効果　（延べ17,000便）

・低積載便の定期便を中心とした効率化
　→上期は定期便延べ**15,600便の効率化**
・物量波動に合わせた効率化
　→特定曜日、大型休日前後、欠便時のダイヤ組み換えによる減便にて延べ**1,400便の効率化**

通期見込み　1,200百万円＋α　（延べ22,000便）

・曜日運休として特に、土曜日の効率化により延べ1,500便を見込む
　→費用削減と共に、路線乗務社員の休日120日確保にも寄与する。
・AIを活用して運行ダイヤ表を刷新し、ダイヤ改正の精度、スピードUP
　→物量予測から積載率向上により低積載便の改善（効率化）の上積みを目指す。

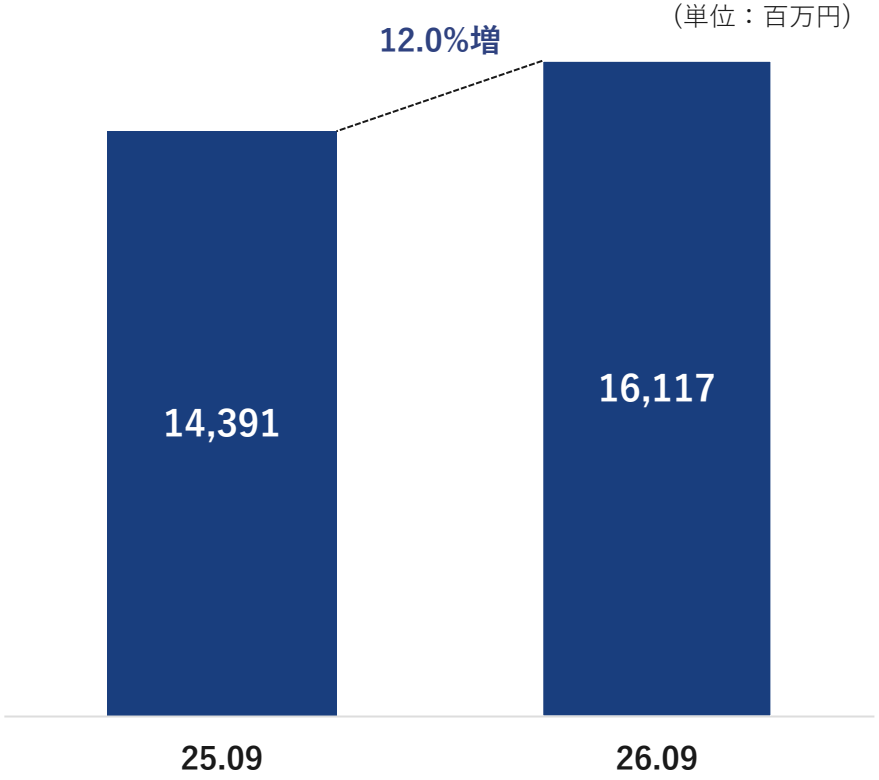
Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

貸切事業の状況

貸切｜売上高（西濃運輸：管理会計）

配車センターの整備による広域配車体制の強化と、既存・重点荷主への営業深耕、長距離・特殊輸送案件の獲得を推進
貸切売上高は上期前年比12.0%の増収を達成

（単位：百万円）



お客様の課題

- 見積回答に時間がかかる
- 適正運賃と最適な輸送の判断の難しさ
- 運賃の確認や車両手配に手間がかかる

爆速チャーター見積で解決

- お客様の目の前で、スピード見積
  過去実績・運賃条件を活用し、即時に見積
- 積合貸切(メガエキス)やＪＩＴＢＯＸの運賃を可視化し、最適な輸送方法を提案
- ハコベルへの相談・配車連携で受注対応を効率化

ビジネスチャンスを逃さない
見積対応の迅速化を通じた
受注機会の拡大へ

回答時間
平均30分程度
↓
即時対応可能に
回答時間
大幅短縮

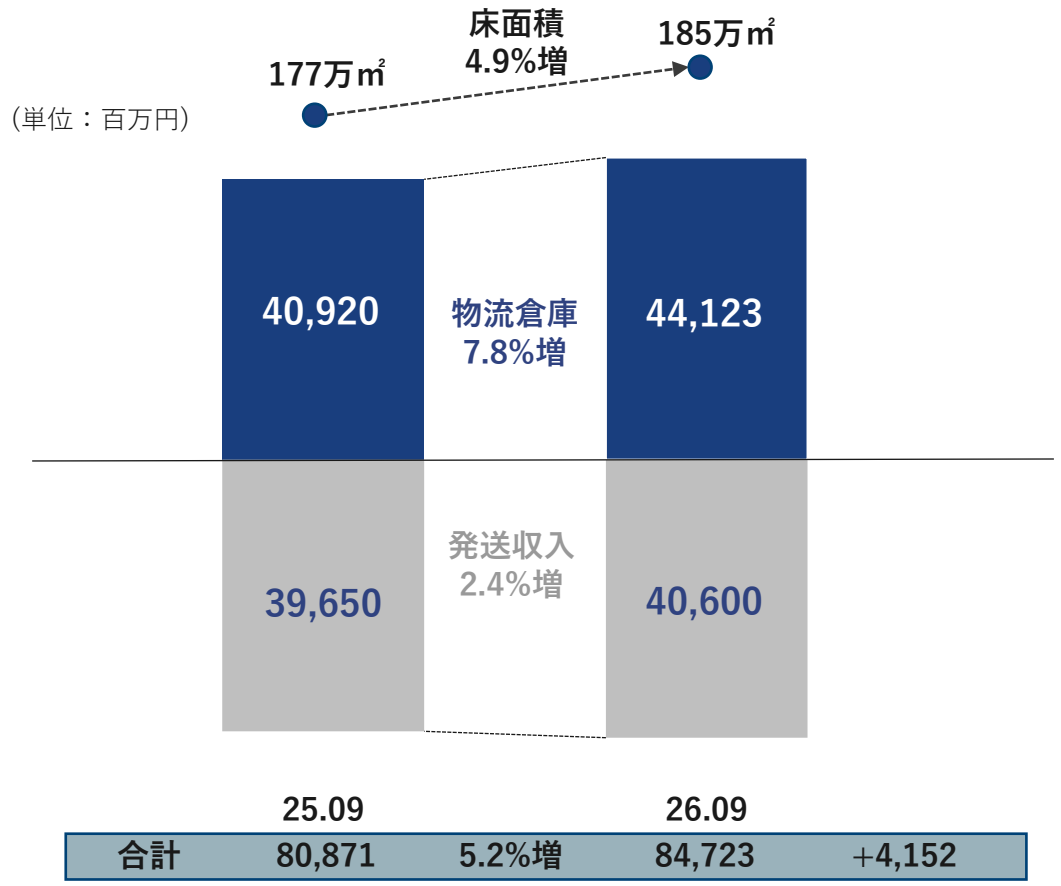


Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ロジスティクスの状況

ロジスティクス｜売上高 （管理会計）

前期開設施設の稼働率が上がり売上増加に寄与



	25.09		26.09	
合計	80,871	5.2%増	84,723	+4,152

事業拡大の要因

- 前期開設した拠点の空き坪への顧客誘致により稼働率が向上し、売上増に寄与
- 今期稼働した新拠点の開設効果による売上増
- ノンアセットでお客様の成り代わりとして場内倉庫業務を受託

将来にわたり持続的なロジスティクスサービスを提供

- 「施設の老朽化」「マテハン設備の更新負担」「従業員の高齢化」などお客様の物流業務の自社運営に対する将来リスクを払拭
- 「物流診断」「コンサルティング」によるお客様の物流改善提案と実物流の運営を担う

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2026年9月　市川支店新築移転



03 2027年3月期 業績予想

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 通期業績予想修正

特別利益の計上などもあり、親会社株主に帰属する当期純利益は350億円へ

売上高は上期実績を通期に反映、営業利益は輸送事業で12月以降の燃料補助金減額を予想に織り込むものの、他セグメント増益分により通期営業利益予想は据え置き、関係会社株式売却益により当期純利益は大幅修正

単位:百万円	27/3（修正後）	27/3（修正前）	増減額	増減率	26/3（実績）	増減額（前年同期）	増減率（前年同期）	コメント
売上高	840,688	825,500	+15,188	+1.8%	812,965	+27,722	+3.4%	
輸送事業	648,277	639,800	+8,477	+1.3%	630,890	+17,386	+2.8%	
自動車販売事業	116,257	112,000	+4,257	+3.8%	110,346	+5,910	+5.4%	
物品販売事業	43,031	41,700	+1,331	+3.2%	40,926	+2,104	+5.1%	
不動産賃貸事業	2,536	2,500	+36	+1.4%	2,456	+79	+3.2%	
その他	30,584	29,500	+1,084	+3.7%	28,345	+2,238	+7.9%	
営業利益	41,400	41,400	0	-	37,605	+3,794	+10.1%	
輸送事業	30,759	31,840	▲1,081	▲3.4%	27,425	+3,333	+12.2%	
自動車販売事業	7,100	6,440	+660	+10.2%	6,917	+182	+2.6%	
物品販売事業	1,360	1,340	+20	+1.5%	1,314	+45	+3.4%	
不動産賃貸事業	1,865	1,850	+15	+0.8%	1,810	+54	+3.0%	
その他	2,330	2,080	+250	+12.0%	2,270	+59	+2.6%	
調整額	▲2,015	▲2,150	+135	-	▲2,133	+118	-	
経常利益	42,400	41,800	+600	+1.4%	37,264	+5,135	+13.8%	EPS 213.54円〔+56.54円〕 ROE 7.4%〔+1.8Pt〕 DPS 106円〔+2円〕
親会社株式に帰属する当期純利益	35,000	27,500	+7,500	+27.3%	23,638	+11,361	+48.1%	

【輸送事業】
<物量・単価想定(西濃運輸)>
物量 100.9%
単価 103.4%

【自動車販売事業】
＜国内新車販売台数＞
乗用車
16,250台〔+508台〕
トラック
2,236台〔+214台〕

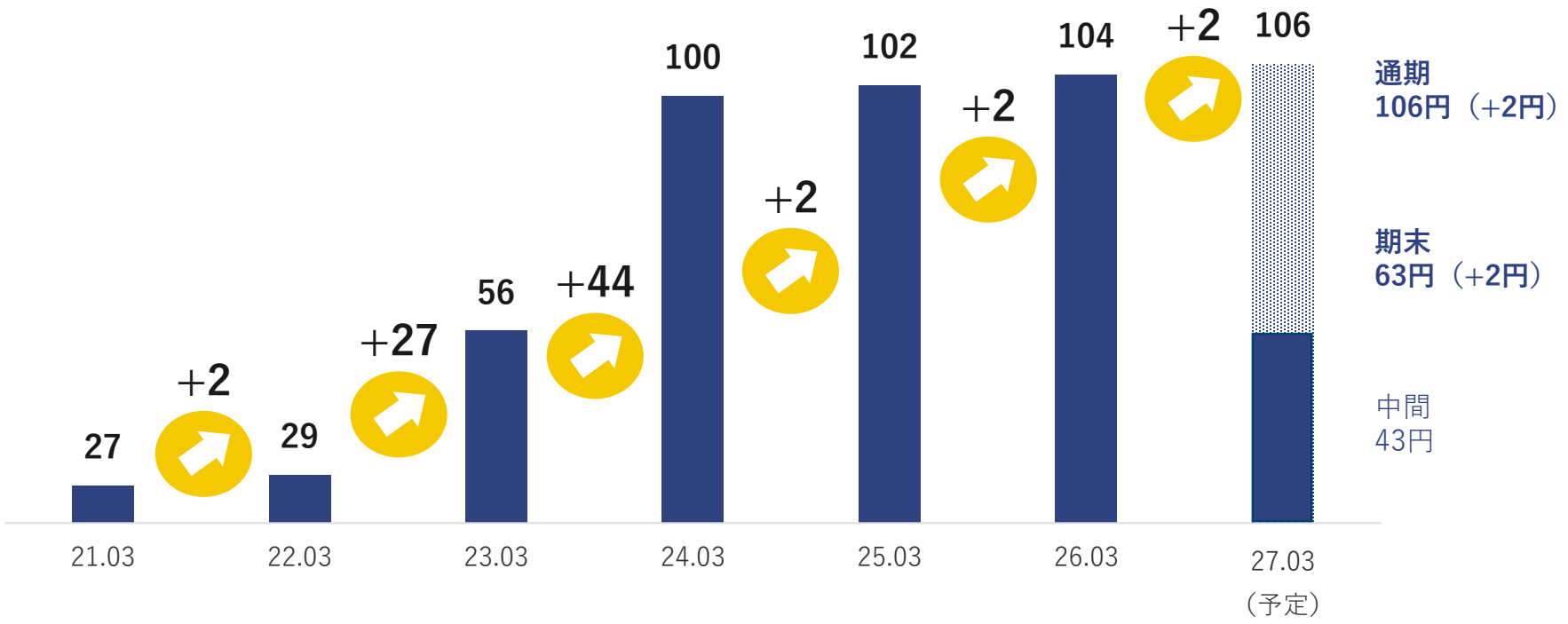
〔特別利益〕
関係会社株式売却益
約12,000百万円

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

配当金について
年間配当予想を2円増配の106円に修正

業績予想の修正に伴い、DOE4%に基づき年間配当予想を106円に増配
中間配当は43円、期末配当は2円増配となる63円を予定

1株当たり配当金（円）の推移



Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.



04 企業価値向上に向けて

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

Team Green Logisticsの目指す姿

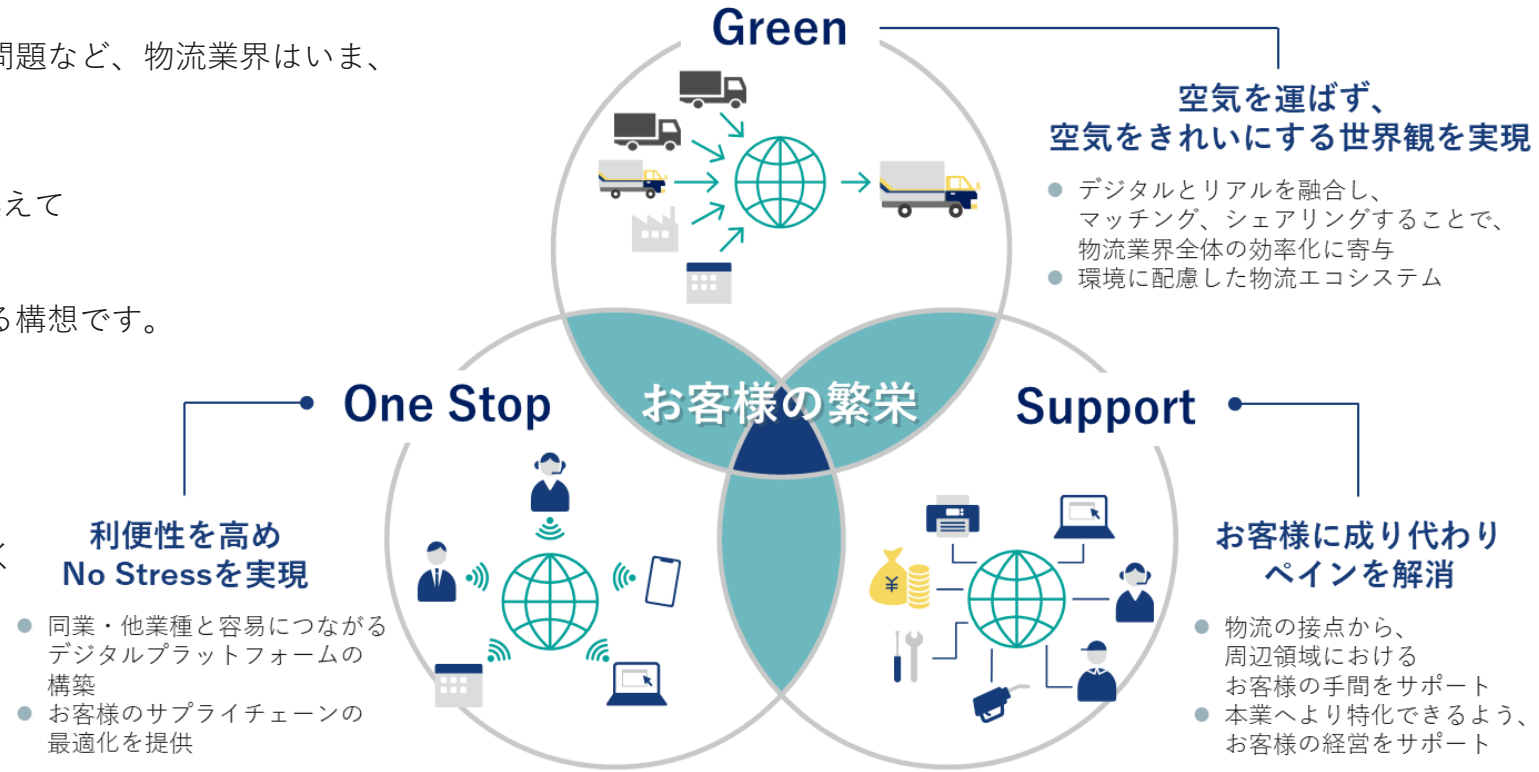
Co-Creation 競争から共創、そして Team Co-Creation 協創へ

人口減少や高齢化に伴うドライバー不足、環境問題など、物流業界はいま、
大きな転換期を迎えています。

「**Team Green Logistics**」は、企業の垣根を越えて
各社の輸送力・拠点・人財・情報をつなぎ、
物流の効率化と環境負荷の低減を同時に実現する構想です。

これまでの「共創」で生み出した新たな価値を、
次は「協創」で協力し実現していく。

互いの強みを結集し、業界の課題解決だけでなく
お客さまのサプライチェーンの強靭化や
日本経済の競争力向上など
持続可能な物流の未来を築いていきます。



Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

再掲

ロードマップ2028
～逆ROEツリー～

ロードマップに基づきロジスティクス事業と貸切事業の推進を加速させます。

ROE改善のドライバー

1	特積み事業の着実な成長
2	ロジスティクス事業の成長
3	貸切事業の成長
4	M&A・オープンイノベーション
1	特積み事業の効率化を通じた収益性向上
2/3	高収益のロジスティクス・貸切事業の構成比拡大
5	DOE4.0%以上の配当と継続的な自己株式の取得

売上高成長
年率4%水準の
オーガニック成長
＋M&A

利益率改善
営業利益率5.8%水準へ

資本政策
自己資本比率を適正水準へ

**経済価値と
社会価値の両立**

ROE8.0%以上

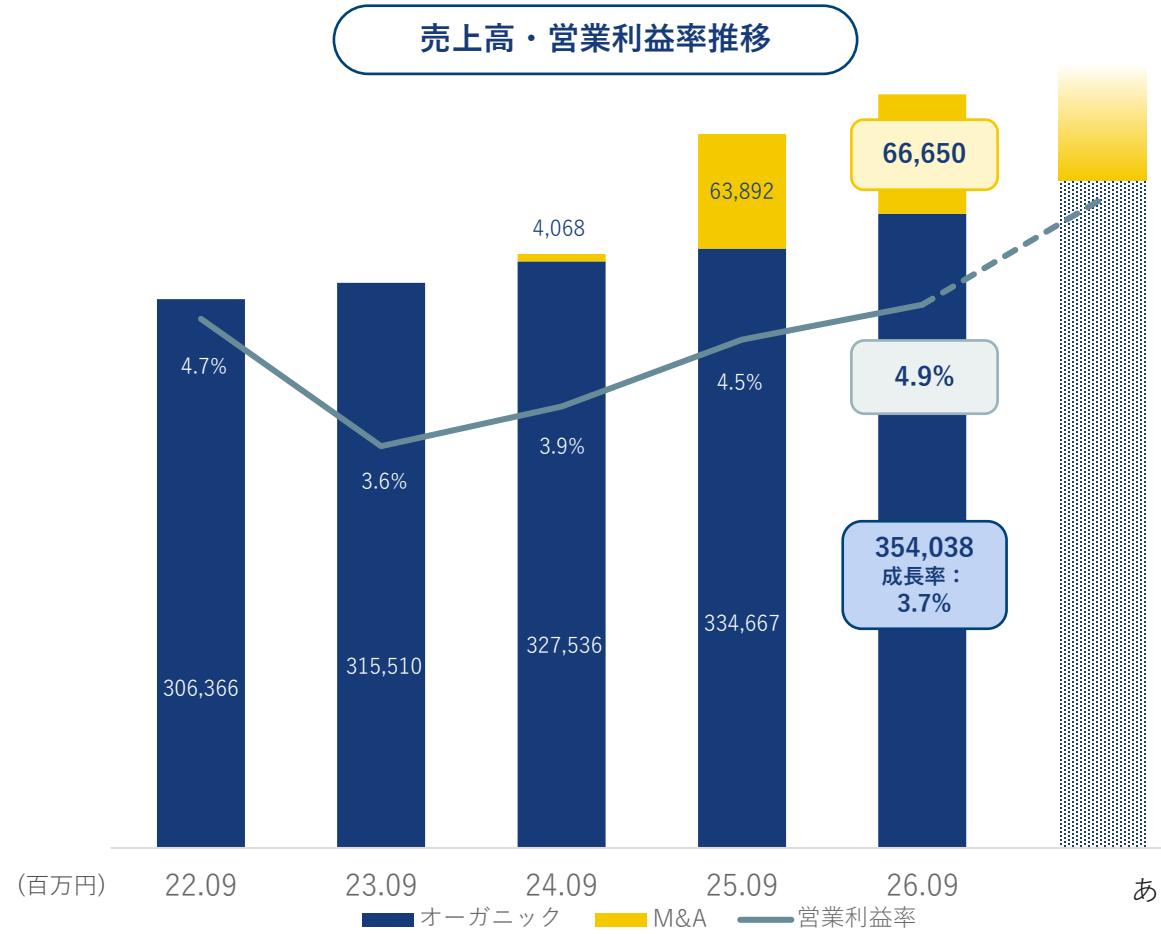
営業利益年率
10%以上の成長

EPS年率
15-20%の成長

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ロードマップ2028の進捗

一時的に円安等による物量減少影響があったものの、ロードマップの推進により着実に施策が進捗し、継続的な売上成長・利益率改善に繋がっています。



＋M&A（23.04以降寄与）

営業利益率 5.8%以上

年率4％超成長

売上高成長

1	特積み事業の着実な成長
2	ロジスティクス事業の成長
3	貸切事業の成長
4	M&A・オープンイノベーション

利益率改善

1	特積み事業の効率化を通じた収益性向上
2/3	高収益のロジスティクス・貸切事業の構成比拡大

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ロードマップ2028
戦略方針



領域別方針と取り組み事例

売上高成長

1	特積み事業の着実な成長
2	ロジスティクス事業の成長
3	貸切事業の成長
4	M&A・オープンイノベーション

利益率改善

1	特積み事業の効率化を通じた収益性向上
2/3	高収益のロジスティクス・貸切事業の構成比拡大

1 特積み

方針
- 適正運賃収受
- 物量確保
- 輸配送ネットワーク効率化

PICK UP P25~26
- ✓ TGL山陰の連携
- ✓ 日本郵便グループとの連携

2 ロジスティクス

方針
- 連携強化による提供力の拡充
- 顧客課題を起点とした提案力高度化

PICK UP P27~29
- ✓ SSX熊本ロジセンター開設
- ✓ AZ-COM丸和HDとの協業
- ✓ 「見つカル倉庫」機能強化

3 貸切

方針
- 新規開拓・既存荷主の深耕
- 運送事業者拡大による配車力強化

PICK UP P30
- ✓ ハコベル運送事業者向け「収支改善プラン」提供

その他 国際／デジタル／人財

方針
- 国内外物流の連携強化と取引拡大
- デジタル・AI活用による事業変革のスピードと質の向上
- 定着・採用・専門性強化

PICK UP P31~34
- ✓ HEX株式譲渡・国際戦略
- ✓ デジタル基盤構築
- ✓ デジタル人財強化
- ✓ 人的資本戦略

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

TGL山陰設立により過疎エリアでの物流持続性に貢献

ドライバー不足が深刻な地域で共同配送を実施し、リソースの有効活用や業務効率化を進め、ドライバーの生産性向上と地域物流の持続に貢献しています。

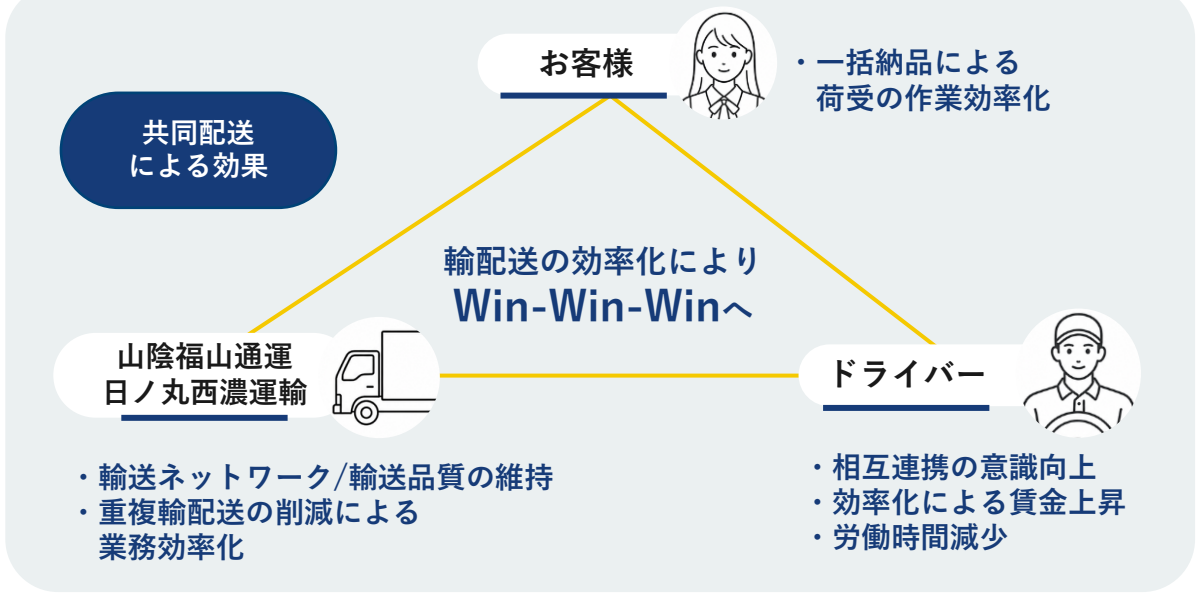
両社合計の
営業利益率
3.1pt改善
※両社単純合計

共同配送：
一部エリアの
配送業務委託

SEINO
日ノ丸西濃運輸

出雲エリア →
← 大田・益田エリア

山陰福山通運



共同配送実施エリアにおいて、
いずれも集配件数及びドライバーの給与にも貢献
委託側においても、欠員対応にかかるコストを抑制

出雲エリア（SEINO）
- 集配件数： 112.6%
- 業績給の増加：（一人当たり平均） 107.5%

大田エリア
- 集配件数： 104.5%
- 業績給の増加：（一人当たり平均） 107.1%

益田エリア
- 集配件数： 117.3%
- 業績給の増加：（一人当たり平均） 116.3%

※担当エリアドライバー1人当たりデータより算出

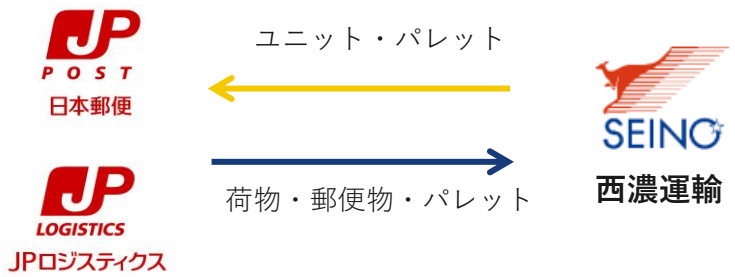
Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

特積み／ O.P.P.

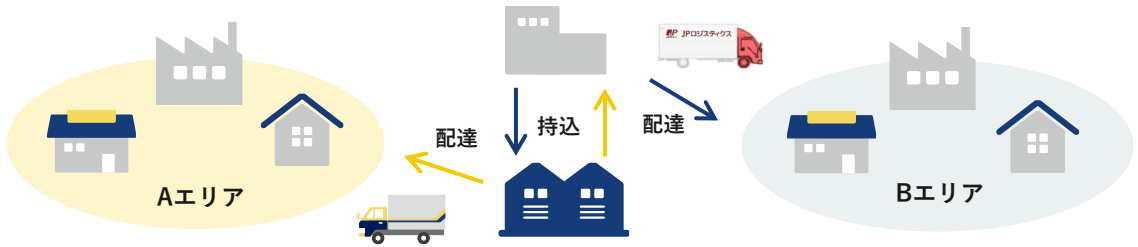
日本郵便グループとの輸配送連携が進展

2024年5月業務提携後トライアルを経て、幹線輸送および共同配送において連携が進展し、ハブ拠点やトラックの空きスペースを活用し、積載・作業効率の向上に貢献しています。

同一方向の幹線便の共同運行



同一エリアの共同配送



両グループでの効果

- 長距離便の輸送力確保
- 臨時便・回送便・コスト抑制
- 空きスペース活用による収益向上

×

- 積載効率の向上
- 土曜日運行の効率化
- 集配力の補完
- 空きスペース活用による収益向上

26.09単月実績

幹線共同運行
572便

共同集配
878便

- ✓ 幹線輸送・集配の両面において取り組み拡大。
- ✓ 特に過疎地などの効率的な配達体制を構築。
- ✓ また九州延岡・日向の拠点共有化実施を経て、その他拠点についても継続して検討していく。

対象の幹線便に対して積載率約25%の改善効果

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ロジ／ On behalf

SSX 熊本ロジスティクスセンター開設により エレクトロ領域のロジ強化へ

九州エリアの半導体関連企業の部材・製品の保管ニーズの拡大に対応し物流機能を強化。
SSXが得意とする「スピード」×「品質」を武器とし、
BCP 対策としても活用できる柔軟なロジスティクスを提供しています。

施設の強み

- 全館空調を備え、精密機器・部材の品質管理に適した環境
- 10tトラック19台分や4tトラック29台分のバース、約1万8千㎡の延床面積と広い物流キャパシティ
- 地震・災害に強い最新鋭施設（耐震S造、高断熱外壁パネル、涵養（かんよう）システム等）

×

物流利便性

- 半導体関連企業の工場まで10分圏内
- 熊本空港まで 約18分（約12km）、九州自動車道 熊本ICまで 約20分（約15km）の好立地
- 九州全域をカバーする広域配送拠点
- 航空便・トラック輸送など多様かつ全国輸送ネットワークを活用した迅速な配送

セイノースーパーエクスプレス株式会社
熊本ロジスティクスセンター
熊本県菊池市旭志川辺字下蛙石 900-1（Marq 熊本菊池）



■拠点概要
主な機能 保管、輸配送、流通加工 等
建物構造 地上 2 階、BOX 型
敷地面積 約 19,000 ㎡
延床面積 約 18,000 ㎡



2026年10月開設
半導体関連装置を主に
稼働率100%と
満床で11月事業開始

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ロジ／特積み／O.P.P.

AZ-COM丸和HDとの協業 4領域で具体化・展開へ

両社の協業領域と競争領域を明確化し、案件ごとに適切な連携スキームを構築。
個別案件の成果・採算性を検証し、顧客・地域等の横展開によって協業効果拡大を推進します。

3PL

顧客課題に応じた新たな物流サービスの構築

- 両社の物流機能・ノウハウを組み合わせ、顧客課題に応じたサービスの具体化を推進
- 店舗納品の効率化や在庫最適化等を実現する新たな物流モデルを検討

10月より小売企業を中心にロジスティクス提案営業開始

課題	店舗間移動に伴う作業負担	段ボール納品による作業負担	販売予測と在庫配置の不一致
解決	登録・ラベル発行・集荷手配を標準化	オリコン・台車等の荷姿見直し	データ管理による補充ルール・配置最適化
価値	店舗作業時間削減	× バックヤード有効化	× 欠品等の機会損失の抑制

ミドルマイル

幹線輸送の協業拡大とO.P.P.の横展開

- パレット輸送・夜間輸送等における輸送リソースの相互活用を検討
- 既存の輸送リソースを活用した拠点間輸送を実現し、新たな輸送機会を創出

ラストワンマイル

実証実験と協業モデル検討

- AZ-COM丸和HDの繁忙期配送キャパシティへの対応
- 配送・メール便の相互委託に向けた具体化を推進し、配送品質・採算性を検証

繁忙期の配車対応においてハコベルが大きく貢献した

BCP

BCPネットワークの実効性向上と事業化検討

- 熊本地震での情報連携を踏まえ、共同訓練等を通じて緊急輸送体制を具体化
- 全国拠点を活用し、備蓄品の在庫管理から輸送まで一体提供するプラットフォームの構築を検討

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ロジ／O.P.P.

物流マッチングサービス「見つカル倉庫」を機能強化

物流拠点の所在地やスペックだけでなく、届けたい場所・配送日数・コストを起点に、候補拠点を比較検討できる新機能の提供を開始しています。

ポイント

- ✓ **配送条件を踏まえた倉庫選定の時間・手間を大幅削減**
- ✓ **物流事業者への問い合わせ不要でサービス内完結**
- ✓ **コスト・カバー率の可視化で戦略的な意思決定を支援**

22年開始以降
累計成約件数
540件
成約数前年比
20%UP





Before

倉庫機能別検索
・倉庫所在地、倉庫スペックの検索

倉庫条件のみの検索

- 配送条件を踏まえた拠点選定に時間がかかる
- 輸送費は物流事業者へ個別確認
- リードタイムを個別に確認
- 比較材料が限られる
- 候補になりにくいエリアは見落としがち

After

追加機能
・お届け先情報によるシミュレーション機能

届けたい場所と希望日数からも検索

- **届けたい場所からスピーディーに検索**
- **倉庫コスト＋輸送コストを自動試算**
- **地図上で配送範囲を可視化**
- **コスト・日数・カバー率を多角的に比較**
- **新たな物流拠点の選択肢を発見**

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

貸切

ハコベル「トラックマネージャー」にて、運送事業者向け「収支改善プラン」提供を開始

運送事業者からのニーズが高い「収益性改善に向けた基盤の整備と、分析・対策検討の伴走支援」に対応することで、輸送力の確保・運送業界の持続性に貢献します。

強み

データベースに蓄積された数万台に及ぶ車両の情報を統計データとして活用

- 収益性・業務効率向上ならびに法令遵守を支援する運送業務支援システム

価値提供

各顧客企業のコスト削減・収益性改善につながるポイントを分析し、収支改善策の検討・提案

- 社内に溜まった紙帳票からデータ整備を丸ごと代行
- 自社目線だけでなく業界比較で分析し、レポート作成
- 高コスト項目などを分析し、収支改善提案



登録車両台数
前年比
33%増

将来構想

運送事業者への案件情報の提供など営業代行機能も展開することを構想

ハコベル運送手配 との連携

累計の荷主アカウント数10万件超のマッチングサービス「ハコベル運送手配」のプラットフォームに集まる「荷物を運んでもらいたいニーズ」を運送事業者の売上機会とし、更なるプラットフォームの拡大へ

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

国際

阪急阪神エクスプレス株式譲渡と今後の国際戦略について

阪急阪神エクスプレス株式を譲渡し資本関係は解消するも、今後の協業関係は継続。
今後は世界中の最適なパートナーを柔軟に組み合わせ、お客様のサプライチェーン競争力を最大化していきます。

これまでの協業

2018年：資本・業務提携開始

- ✓ 国際物流サービスの提供基盤を構築
- ✓ 国内・国際物流を組み合わせた取引の拡大
- ✓ 相互送客・共同営業によるシナジー創出

これからの関係

株式売却後も、協業関係は継続

- ✓ 協業関係は業務委託契約に基づき継続の方針
- ✓ これまでの協業成果を活かし、安定的なサービス提供を継続
- ✓ 資本関係に依存しない、柔軟で開かれた協業体制へ移行

今後の国際事業の方向性

当社グループの優位性

- グループの国際輸送機能
- 工場内物流機能・ノウハウ
- 特殊専門輸送・設置技術
- 現地法人・提携財閥の現地輸送ネットワーク

×

外部パートナー

- 複数の外部フォワーダー
- 航空会社・船会社
- 現地物流事業者

HANKYU HANSHIN EXPRESS / mahindra LOGISTICS / DSV / ITL LOGISTICS

SSX SEINO SUPER EXPRESS / SEINO 西濃運輸
LOGIS MDロジス株式会社
LOGIX セイノーロジックス株式会社 SEINO LOGIX CO.,LTD.
SEINO セイノー通関株式会社 Seino Customs Clearance Service Co.,Ltd.

海外現地法人
アメリカ / メキシコ / 中国 / ベトナム / インド / タイ / インドネシア / マレーシア

MDロジスの専門性を活用し、日本品質物流の海外展開を拡大します

単一パートナーに依存しないことにより、お客様ごとの航路・予算・納期に応じて、世界中の最適な物流事業者を柔軟に選定。
グループ機能と外部機能を最適にコーディネートすることで国内外の一貫取引拡大を目指します。

売却によって得られる資金254億円については、成長投資、財務健全性、株主還元等を総合的に勘案して活用する方針

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

デジタル

データ基盤構築により無形資産を強化していきます

グループ全体のデータを資産とし、当社固有のデータ × 生成AIを組み合わせることで
現場の「やりたいこと」を実現し、事業構想の実現スピードと質を高めます。

グループ共通のデータ基盤を構築

データ基盤

BI・可視化
経営・自作ダッシュボード

AI・機械学習
AIプランナー、予測モデル

現場での活用
業務システムへ書き戻し

独自データ資産
顧客・輸送・業務・ネットワーク

独自判断モデル
自社の価値観・業務プロセス

独自AIツールで競争優位確保へ

【事例】運賃シミュレーションツール

Before
担当部門に依頼し、3~6時間後にExcelで受取

After
データ基盤との接続で約0.2秒で計算・出力。商談中に提示可能に。



お客様のメリット

- ✓ お客様に寄り添った提案が即時可能に
- ✓ 複数シミュレーションの高速化
- ✓ 意思決定の時間短縮

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

デジタル

デジタル人財強化によって自ら現場の課題解決・変革できる組織づくりを目指します

営業人財の強化・支援のため、デジタル戦略室と連携し「AIプランナー」を社内で構築。
デジタル人財を強化することで、現場単位のデジタル・AI活用による事業強化を目指します。

【事例】営業サポートツール「AIプランナー」

課題

- 経験の浅いプランナーのお客様への対応力強化
- 複雑な業務情報のデータベース・ナレッジ化

「調べる」「聞く」「待つ」を減らし、
お客様への対応や提案に使える時間を増やす

効果

- お客様へのレスポンス時間短縮
- 空いた時間を提案力強化に活用

ツールでできること

- ✓ 商品・サービスについて確認
- ✓ 営業ルールや取扱条件など社内情報を確認
- ✓ 営業活動全般の不明点を即座に回答する



構想から
2日で
基礎構築

入社５年目の非エンジニア従業員が短期間でAIプランナーの基礎を構築

2025年12月より組成した「デジタル戦略室」のメンバーである非エンジニア従業員が、営業部門の要望に応じて2日で構築。

現在デジタル戦略室を中心に、プログラミング未経験者も含め、AIを活用し複数の新たな仕組み・システムを構築中。自社構築＆低コストで身近な業務効率化を進めていく。

＋ また西濃運輸にて全社的にチャットAIを導入することで、AIを使う文化を醸成し、更なるデジタル人材強化を目指す取り組みも行っています。



Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

人的資本

定着と採用に注力し 人的資本を強化していきます

従業員の「誇り」や「一体感の醸成」と「働きやすさ」を高め、エンゲージメント向上と持続的な成長を実現します。

定着

● 一体感の醸成
従業員の企業スポーツを通じた一体感の向上



休日開催時は満員となる等
累計動員数 **5万人超**
（お客様・パートナー・従業員等）

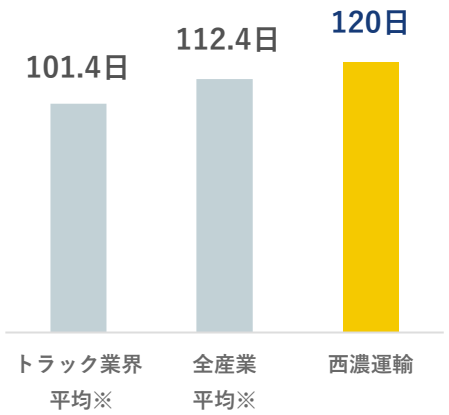
野球部応援メッセージ
全国各支店の従業員が参加
応援動画再生回数**1.8万回**

YouTube動画

採用

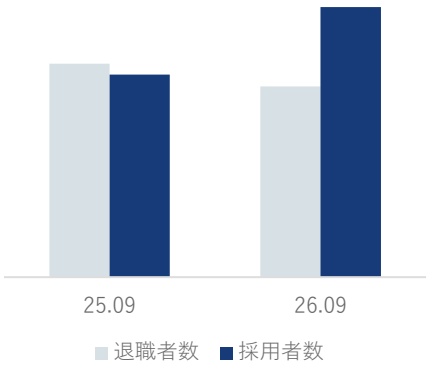
● 働きやすさ向上
年間休日を増やし、仕事と生活の両立に向け環境を構築

年間休日（西濃運輸）
111日→**120日**

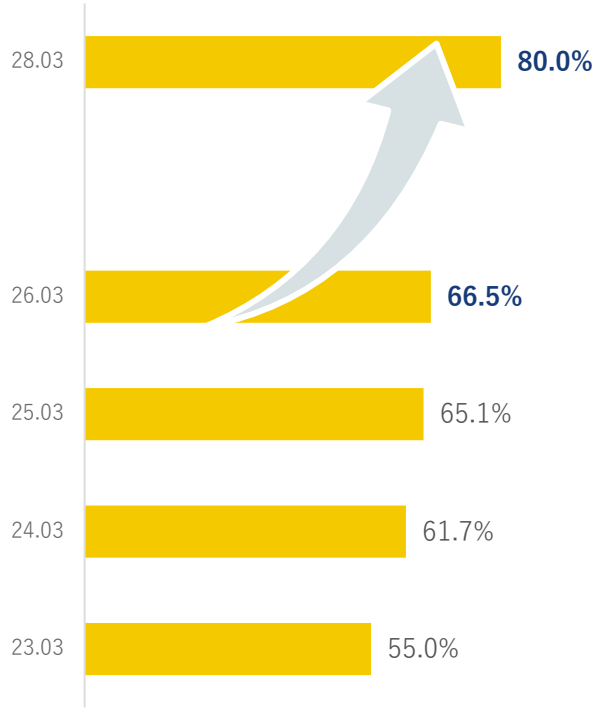


26.09期
ドライバー
採用者数（西濃運輸）
前年同期比
33.2%UP

退職者数は低減し、採用者数が大きく上回った



ワーク・エンゲージメントの推移



※出典：2025年度版トラック運送事業の賃金・労働時間等の実態、令和７(2025)年就労条件総合調査より

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

おわりに



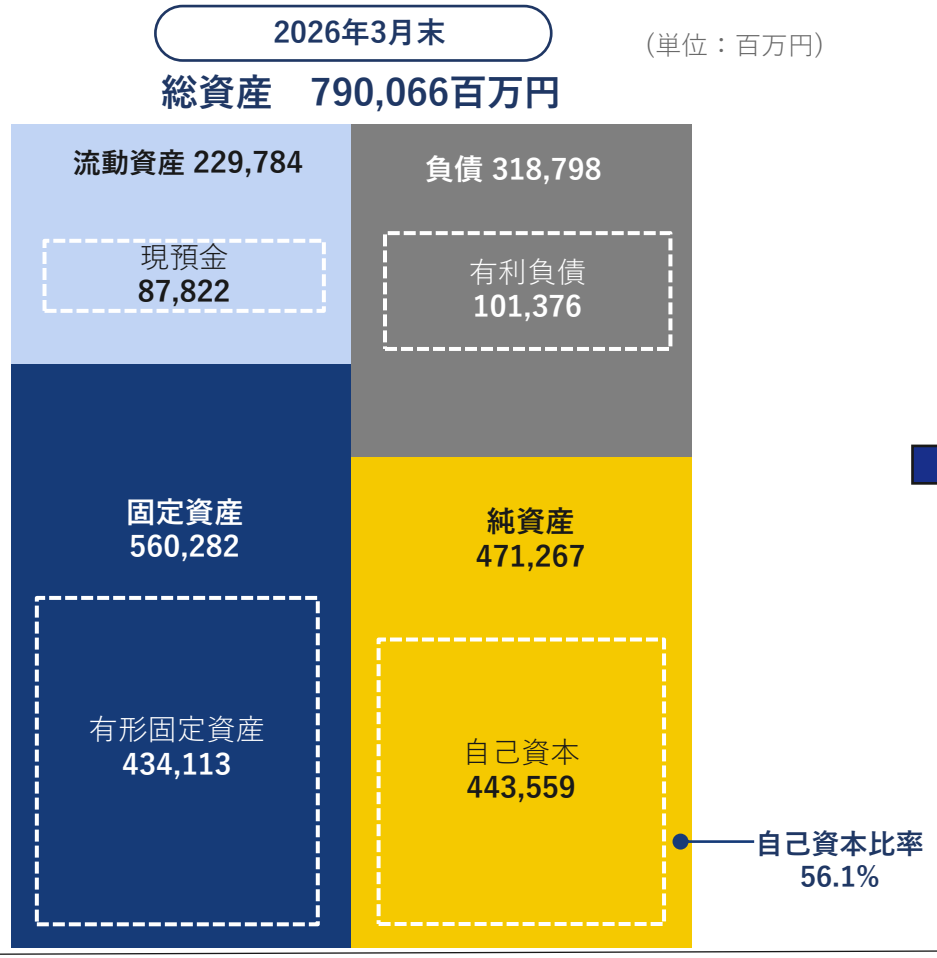
- 通期業績予想では、特殊要因による純利益の押し上げにより、ROEは7%中盤まで見えておりますが、実力は6%台で更なる利益成長が必要であり、特積みの収益性の改善やロジスティクス・貸切の成長拡大に非連続成長を加えることで、ROE8%達成に向けて取り組んでまいります。
- 4月に設立したTGL山陰では、共同配送エリアでの生産性が上がり、ドライバーの業績給の上昇や両社の営業利益率に改善が現れ、過疎エリアの物流サービスの持続性に光が見えてまいりました。
- AZ-COM丸和HDとの協業についても、協業領域と競争領域を明確化し、案件ごとの連携スキームを構築し協業を推進しておりますが、10月より小売企業を中心としたロジスティクス提案営業を開始しております。
- DX・AIを積極的に業務に取り入れていくことで、DX・AIを活用できる人財育成と、ノウハウの定型化による効率化・省人化を実施するモデルケースとなるよう進めてまいります。
- 引き続き、業界の課題解決だけでなく、お客様のサプライチェーンの強靭化や日本経済の競争力向上など、持続可能な物流の未来を築いていくことで、自社の成長につなげてまいります。

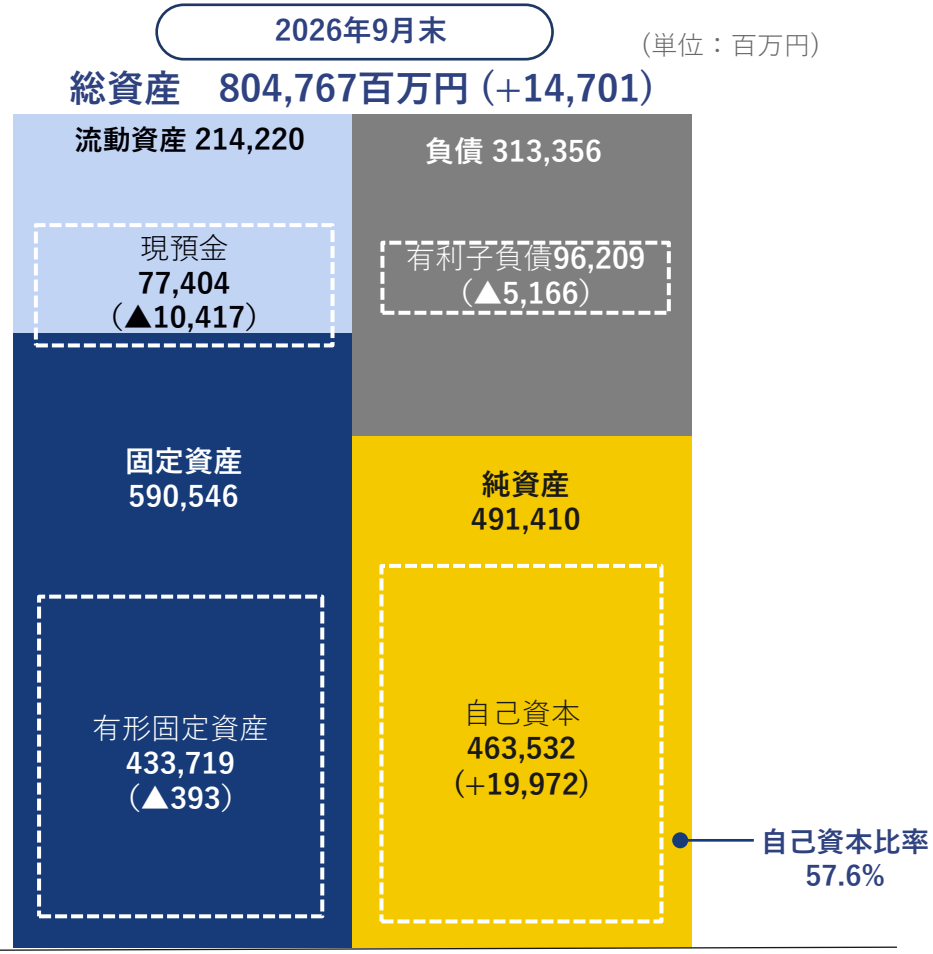
Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

Appendix

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

バランスシート





Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問合せ先

セイノーホールディングス株式会社

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町１番地

TEL：0584-82-5023　　FAX：0584-82-5043

http://www.seino.co.jp/seino/shd/

E-mail：i.r@seino.co.jp

Copyright©2026 SEINO HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.